

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	3	ごみ廃棄物の適正処理	② 施策番号	3205
③ まちづくりの方向〔政策（章）〕	5	快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大（節）〕	3	日常生活や事業活動などにおいてすべての市民・事業者が資源・エネルギーの利用などに配慮し、環境に負荷をかけないまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	1	資源・エネルギー有効利用の推進		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名			
市民生活環境部	環境整備課			

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象（誰、何に対して施策を実施するのか）	し尿汲取世帯及び浄化槽利用世帯
② 意図（対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか）	し尿や浄化槽汚泥などの廃棄物の適正処理。
③ 環境（この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか）	公共下水道の普及、浄化槽人口の増加により、汲取人口は減少している。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標（成果指標）		単位	指標とした理由・考え方
①	汲取券販売額	千円	公共下水道以外でし尿の汲取りが行われることにより、適切に廃棄物が処理される。
	計算式		
②			
	計算式		
③			
	計算式		

	指標名	単位		H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
①	汲取券販売額	千円	目標値				35,484		
			実績値	37,435	36,971	35,484	—	—	
			達成率						
②			目標値						
			実績値						
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費（千円）			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1	汲取世帯支援事業	汲取券販売額	千円	36,456	36,971	35,484	39,893	37,790	40,782	A	ア	
2	伊賀市廃棄物処分場環境整備事業	汚泥処分量	m ³	624	670	720	1,273	1,107	1,106	A	ア	
3	双子川浄苑維持管理事業	処理率	%	100	100	100	127,424	186,619	162,880	A	ア	◎
4												
5												
6												
7												
8												
計	3						168,590	225,516	204,768			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	し尿や浄化槽汚泥を処理する施設を適切に維持管理することにより、環境保全に努める。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	汲取人口の減少の状況。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	し尿や浄化槽汚泥などの廃棄物を適正に処理することは市の責務である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	公共下水の普及に伴い、わずかずつであるが汲取人口は減少しているものの廃棄物の適正な処理を行うことは必要。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	廃棄物の適正処理のため、事業の継続は重要である。

4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	廃棄物の適正処理のため、処理施設の適正な維持管理を行う必要がある。また、今後の安定した適正処理・維持管理のため、広域化も含めた幅広い手法について検討する必要がある。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	処理施設の計画的な更新・修繕のため点検を実施する
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	双子川浄苑の更新・修繕計画の策定
中長期的対応 (3～5年をめぐりに取り組む改善案)	計画的な更新・修繕工事の実施

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A～D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる
	B	ごみ廃棄物の適正処理に向けた処理施設の維持管理が適切に実施されている。 引き続き設備の維持管理に計画的に取り組まれるとともに、今後の設備更新に向けての検討を進められたい。	B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある